

粒子線がん治療費利子補給事業について

鹿児島県では、県民が粒子線治療を受けやすい環境を整備するため、メディポリス指宿「がん粒子線治療研究センター」において粒子線治療を受ける患者本人やその家族等が治療費を金融機関から借り受けた場合に、利子の一部を助成する制度を平成23年4月から開始しました。制度の概要は以下のとおりです。

なお、詳細は下記問い合わせ先へお問い合わせください。

1 利子補給の対象者

「がん粒子線治療研究センター」で粒子線治療を受け、治療費の支払いのために金融機関から借入を行った患者本人又はその家族等（親族、同一世帯に属する方）とします。

但し、患者本人は、治療開始時点において、県内に1年以上在住している方であり、世帯全員の課税総所得金額が600万円以下の世帯に属する方とします。

2 借入限度額及び利子補給の割合等

(1) 対象借入金

金融機関からの借入金のうち粒子線治療料相当額（限度額：2,883千円）とします。

(2) 利子補給率

①年利率（6%以内）の100%……住民税非課税世帯に属する方

②年利率（6%以内）の50%……世帯全員の課税総所得金額が600万円以下の世帯に属する方

(3) 利子補給期間

5年（60月）を限度とします。

3 申請に必要な書類

(1) 利子補給金承認申請書

(2) 金銭消費貸借契約書の写し

(3) 金融機関が発行する返済予定表の写し

(4) 患者の属する世帯全員の住民票及び所得証明書

(5) 粒子線治療を受けることの同意書の写し

(6) 親族とみなされることを証する書類（親族が申請者となる場合のみ）

(7) その他知事が必要と認める書類

4 申請から支払いまでの流れ

ア 申請

(1) 申請者が利子補給の承認申請書を県に提出

(2) 県が承認・不承認を決定し、申請者へ通知

イ 支払い

(3) アで承認された方は、各年1月から12月までの利子支払合計額を交付申請兼実績報告書により県に提出（年1回。翌年2月末日までに提出）

(4) 県は交付額を決定し、1年分の利子支払い額を一括して交付

※ 申請書等は、県ホームページからのダウンロード及び各地域振興局保健福祉環境部健康企画課で入手できます。

【問い合わせ先】

鹿児島県 保健福祉部 地域医療整備課 地域医療係

TEL 099-286-2693

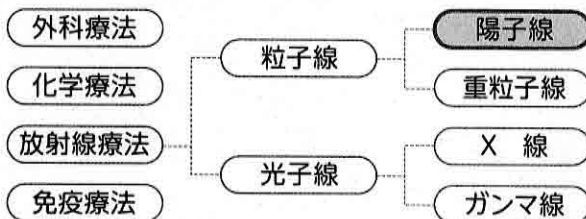
粒子線治療とは

粒子線は、水素原子イオン(陽子またはプロトンとも言います)や炭素原子イオンなどの粒子の流れです。これらの粒子をシンクロトロンという加速器により光速近くまで加速し、がん病巣に向けて照射します。粒子線は、がん病巣のみをねらい撃ちできるため、まわりの正常組織への影響を最小限に抑えることが可能です。米国では、80年代から陽子線を用いた治療が行われ、良好な治療成績が得られており、当施設でも陽子線を用いた粒子線治療を行います。治療中は痛みや熱など何も感じることはありません。

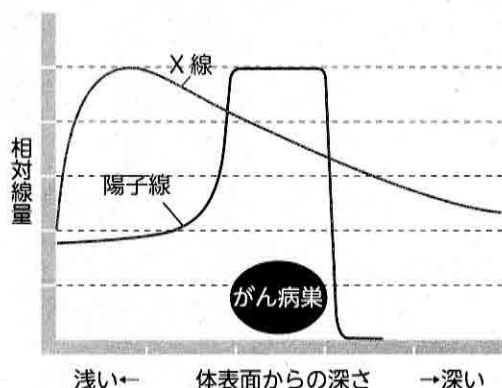
一般にがん治療に利用される放射線は、光子線と粒子線の2つに分けられます。光子線とは、電磁波であり、X線・ガンマ線など従来の放射線治療に利用されています。粒子線は、その名のとおり、水素あるいは炭素の原子核を利用した放射線で、これらの粒子を用いた放射線治療を「粒子線治療」と呼んでいます。

粒子線治療の特徴は、粒子線がブラッグピークというエネルギー放出の物理学的な特性を有しているため、がん細胞に対して集中的に致命的ダメージを与えることができ、根本的ながん治療が可能であるという点にあります。

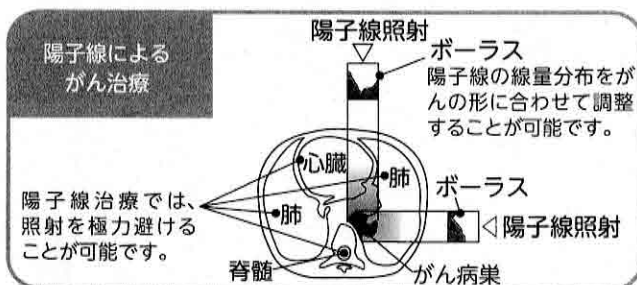
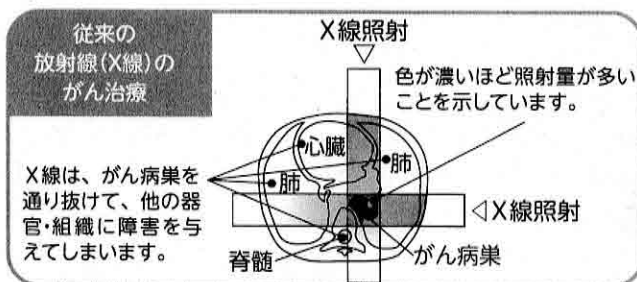
主ながんの治療法



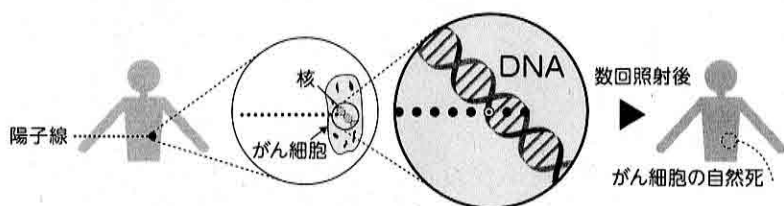
X線と陽子線による治療の違い



陽子線はX線に比べてエネルギーを病変に確実に集中できる治療法であり、がん病変に多くの線量を照射しつつ、周囲の正常組織への影響を軽減できます。



陽子線照射後に体内で起こること



陽子線は体内に照射されると、正常な細胞にはほとんど影響すること無くがん細胞に到達します。そして、がん細胞のDNAを攻撃します。陽子線により、損傷を受けたがん細胞は死滅し、増殖できなくなります。